

(別紙)

理系学生の新規採用時に求めるスキルに関する調査について

平成28年12月

(一社) 研究産業・産業技術振興協会

概要

(一社) 研究産業・産業技術振興協会 (<http://www.jria.or.jp/> 以下「JRIA」という) は、平成28年度経済産業省補助事業(理系女性活躍促進支援事業)の採択を受け、「理工系人材育成に関する産学官行動計画」の取組の一環として、理系学生の新規採用時に求めるスキルに関する調査を実施することになりました。

本調査の結果は、業種・事業分野(職種)別に民間企業が求めているスキルを専攻分野及び基礎分野・共通基盤分野として整理することにより、学生にとって将来の希望進路と科目選択などの履修行動の検討に役立つわかりやすい情報提供への活用を予定しています。

1 背景と目的

日本の産業界においては、イノベーション創出に欠くことができない理工系人材の需要が高まっています。また、情報技術分野など一部の産業分野での人材不足、専門分野に特化した知識・技術だけでなく基礎的知識や教養をも必要であるなどとされています。これらの状況に鑑み、経済産業省と文部科学省が共同で設置した、「理工系人材育成に関する産学官円卓会議」の議論を踏まえて、本年8月に「理工系人材育成に関する産学官行動計画」が取りまとめられました。

本調査は、JRIAが平成28年度経済産業省補助事業(理系女性活躍促進支援事業)の支援を受けて取り組むものです。上記産学官行動計画に掲げられている「産業界が理工系人材に求めるスキルを“見える化”することにより、学生の学業に対するインセンティブが増大し、学生の履修行動が変わることで、必要な科目の履修を促進する」に対応する取組みであり、企業における理系女性の確保によるダイバーシティの拡大も目指しています。

JRIAとしては、すでに①産業界のスキルニーズを業種別・分野別に把握し、②この情報をもとにして産業界が求めているスキルへの学生の対応状況を“見える化”するシステム(仮称「理系女性活躍促進支援システム」)の開発を進めています。本アンケート調査は、上記①のために実施するものであり、②のための基本情報としても活用させていただきます。今後のスケジュールは、平成30年卒の学生(現在、学部3年生、修士1年生など)の就職活動開始時期である平成29年3月頃にサービスを開始する予定です。

2 調査の概要

JRIAの事前調査によれば、民間企業においては、製造業・サービス業いずれも将来のイノベーションや新規事業などを担う学生に対して広範な専門分野や基礎的・基盤的知識・教養に対する期待があります。

しかし、現時点では、産業界から学生に対して、大学・大学院などの専門分野に応じて

どの程度の「知識・技術」や「基礎的知識・教養」を求めているのかについて「業種別・職種別」に具体的に提示したものは存在していません。すなわち、学生側から見れば、学生生活の中で「将来の進路を意識しつつ学業に対するインセンティブを増大する」ために役立つ「大学における履修科目」に基づいた業種別・職種別の情報がないのが実態です。

本調査は、これらの実態を踏まえて、理系学生の裾野拡大とレベルアップを視野に置き、「すべての業種」を対象として、企業の「事業展開分野」に着目し、その事業分野に応じた「技術系専攻分野」及び「基礎分野・共通基盤分野」を把握するもので、他に類例がないものです。本調査の結果は、学生にとって将来の希望進路と科目選択などの履修行動の検討に役立つわかりやすい情報を提供するために活用する予定です。

3 実施要領

(1) アンケート回答方法

電子ファイル (Excel) によるアンケート方式

(2) 実施手順

- ① 団体等の協力により企業様宛に調査用ファイル「理系学生の新規採用時に求めるスキルに関する調査 (Excel)」を電子メールで送付
- ② 企業様において Excel ファイルの設問に回答
- ③ 各会員企業様より回答を記入した Excel ファイルを J R I A 宛電子メールで送付

(3) 回答期限

平成28年12月26日 (月) (予定)

4 回答送付先、問い合わせ先

(一社) 研究産業・産業技術振興協会 担当 野口、中村

E-mail jria130@jria.or.jp

電話番号 03-3868-0826

以上

(別紙)

理系学生の新規採用時に求めるスキルに関する調査－回答要領

1. 問い合わせ先、アンケート回答送付宛先

(一社) 研究産業・産業技術振興協会 (以下、J R I Aという) 担当 野口、中村

E-mail jria130@jria.or.jp

電話番号 03-3868-0826

2. アンケート回答方法

(1) 回答方式

電子ファイル (Excel) によるアンケート方式

(2) 回答手順

- ① 各企業様宛に調査用 Excel ファイルを J R I A よりメールにて送付
- ② 各企業様において、以下の3, 4に基づき Excel ファイルの設問に回答
- ③ 各企業様から上記 1. の回答送付宛先 (jria130@jria.or.jp) に Excel ファイルを送付

(3) 回答期限

平成28年12月26日 (月) (予定)

3. 回答記入要領

- ・ 水色の網掛けをしたセルが回答欄です。マウスのポインタを移動し、左クリックしてから回答ください。
- ・ 回答欄の右に▼マークが表示される場合は、▼を左クリックし、ドロップダウンリストから回答を選択ください。
- ・ ▼マークが表示されない場合は自由記述欄です。ダブルクリック (左) してカーソルを表示してから回答ください。

4. 各設問への回答について

A 理系学生の採用実績と採用判断のポイント

[A 1] 採用実績と今後の見込み

(1) 2016年度の貴社の理系学生の採用実績の有無をお答えください

- ・ [1 : あり 2 : なし] のいずれかを選択してください。

(2) 2016年度の理系学生の採用実績が [あり] の場合、その内訳を1から16までの全項目についてお答えください

- ・ 全項目について、採用実績ありの場合は [1 : あり] を選択してください。
- ・ 採用実績なしの場合は空欄のままにしてください。

(3) 2017年度の理系学生採用の見込みをお答えください

- ・ [1 : あり 2 : なし 3 : 不明] のいずれかを選択してください。

(4) 2018年度以降の理系学生採用の可能性をお答えください

- ・ [1 : あり 2 : なし 3 : 不明] のいずれかを選択してください。

[A 2] 採用判断のポイント

(1) 貴社が理系学生採用に際して特に重視するポイントがあれば、「3つ以内」でお選びください

- ・ 重視するポイントがあれば、最大3つまで [1 : 重視する] を選択してください。
- ・ 該当なしの場合はすべて空欄のままにしてください。
- ・ [10 その他] を選択した場合は、具体的に内容を記入してください。

- (2) お選びいただいた採用時の重視ポイントに関し、貴社の評価方法・判断基準があれば、可能な範囲で記述ください
- ・記述にあたって、例えば、個別面談、履修科目、エントリーシートの内容などの場合、具体的な評価方法を教えていただけると大変ありがたいです。

[A 3] 理系女性の採用について

理系女性の採用に関し、採用時に考慮していること、悩みや課題、将来の展望等、何でもご自由に記述ください

- ・例：女性採用窓口を設けている、女性採用の目標人数を設けている、応募してくる女性が少ない、等。

[A 4] その他

理系学生の採用に関連して、何でもご自由に記述ください

- ・大学院博士、外国人留学生の採用、インターンシップの活用等、最近の動向に関する情報を期待しています。

B 主要な事業分野と必要な技術専攻分野

[B 1] 主要な事業分野

貴社の主要な事業分野を、一つ以上お選びください

- ・貴社の最重要の事業分野を1つ選び [1] を記入ください。
- ・それ以外に主要な事業分野がある場合は (いくつでも) [2] を記入ください。

[B 2] 必要な技術専攻分野

- (1) [B 1] で選択した貴社の [1 : 最重要の事業分野] において、「主に新規採用を考えている技術系専攻分野」があればお選びください (いくつでも可)

- ・貴社の [最重要の事業分野] についてお答えください。
[最重要の事業分野] 以外の主要な事業分野についてのお答えは不要です。
- ・主に採用を考えている技術専攻分野 (いくつでも) に [1] を記入ください。

- (2) [B 1] で選択した貴社の [1 : 最重要の事業分野] において、「主に新規採用を考えている技術系専攻分野」以外でも、採用を考えている専攻分野 (少人数等) があればお選びください (いくつでも可)

- ・貴社の [最重要の事業分野] についてお答えください。
[最重要の事業分野] 以外の主要な事業分野についてはお答えは不要です。
- ・主な採用対象分野以外に、少人数であっても定常的に採用が必要な技術専攻分野があれば (いくつでも) [1] を記入ください。(貴社の業種分類が就職情報誌などで決められているために、採用が難しい技術分野を意識した設問です)

[B 3] あれば望ましい基礎分野・専門知識

- (1) 貴社への就業に際して学んでいることが望ましい基礎分野・共通基盤分野があれば、お選びください (いくつでも可)

- ・専攻技術分野に関わらず、学部または修士レベルで学んでいることが望ましい基礎分野・共通基盤分野 (いくつでも) に [1] を記入ください。[9 その他] を選択した場合は、具体的に内容を記入ください。

- (2) 貴社において今後必要となる (と考える) 専門知識があれば、可能な範囲で記述ください (例：人工知能、ロボティクス、IoT、ヘルスケア、等)

- ・現時点で採用実績がない分野、採用後に研修している分野など、例示の内容にこだわらずお答えください。

[B 4] その他

理系学生の専門スキルに関連して、何でもご自由に記述ください

- ・政府、大学、教育機関への要望等、理系学生の採用に関わることなら何でもご自由にお書きください。